



- ①最優秀賞「霧晴れて～残月と紅葉～」佐藤 圭 (留萌市)
- ②優 秀 賞「いくぞ!ヨイヤサー!!」加藤 裕 (札幌市)
- ③優 秀 賞「涼風にのって」野 佳昭 (沼田町)
- ④入 選「思い出は、遠いあの日」高山 亮太 (羽幌町)
- ⑤入 選「進撃の迫力」沼田 信廣 (美唄市)
- ⑥入 選「夜高の明日へ」佐藤 圭 (留萌市)
- ⑦入 選「黄金いろの沼田町」梅澤 勇二 (旭川市)
- ⑧入 選「夕暮れの湖」野 佳昭 (沼田町)

審査員好評

まずもって「明日萌の里フォトコンテスト」受賞者の皆様に心よりお祝い申し上げます。

16回目となりましたこのフォトコンテストですが、この度、初めて審査を担当させていただきました。応募点数は200点以上あり、地方の行政主催のコンテストとしてはかなり多い数で、沼田町民始め近隣の方々の写真文化芸術に関する意識の高さが伺えました。

応募内容としましては、やはり知名度の高い「夜高あんどん祭り」の作品が多数をしめていましたが、景勝地やほたるなどの自然風景写真、そしてイベントや人物スナップなど、多様な作品が集まりました。

今回が初めてということで、一枚一枚入念に拝見させていただきました。

どの作品も非常にレベルが高く、応募者はかなり手慣れた方々と拝察致しました。

ただし、コンテストとなると賞には限りがあり、最終的に何名かに限定しなければならないのが非常に心苦しく感じました。

作品のレベルの高さは前述しましたが、講評ですのであえて欲を申しますと、全体的にややおとなしい感じがしました。

最近のデジタルカメラはその進歩がめざましく、あんどん祭りやほたるなどの夜景も、シャッターを押せば撮れるようになってきました。

つまり、今は撮れるのはあたりまえになってきているのです。

写真は自己表現。もう一步踏み込んだ自分ならではの視点やカメラテクニックがあったらいいな、と思いました。

あんどん祭りと言いますと、綺麗に仕上げた作品がほとんどだったのですが、動きが止まっていてやや迫力に欠ける感じがしました。どのようなアングルで撮れば動いているように見えるのか、あるいはカメラテクニックで動きを付けるのかなど、もう一ひねりあるとグンとレベルがアップすると思います。

今までの入賞作品をじっくり見返し、すぐれた作品からヒントを見つけ出すのも良いですね。

次回は今回以上に自己表現された作品をお待ちしたいと思います。

最後になりますが、16回と長年開催を重ねられている主催者と関係者の皆様に敬意を表しますと共に、人と文化の交流、沼田町の観光振興の発展、また写真芸術の更なる発展を御祈念申し上げ講評とさせていただきます。

2014年11月3日 「明日萌の里フォトコンテスト」審査委員代表 写真家 菊地 晴夫



第16回明日萌の里 フォトコンテスト入賞作品